

提言書

子育て支援について

牧之原市議会

提 言 書

子育て支援について

牧 之 原 市 議 会
(文教厚生委員会)

市議会文教厚生委員会では、平成27年11月から「子育て支援について」及び「教育環境について」を所管事務調査事項として調査研究を進め、これまで市の施策に関する勉強会、みらい子育てネット牧之原との市民会議の開催、また先進的な都市の視察を行うなど、子育て支援の課題等について現状把握に努めてきました。

市では、「第2次牧之原市総合計画」及び「第2次健やかプランまきのはら」により、地域子育て支援事業の充実と、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備に積極的に取り組んでいます。

しかしながら、調査研究を進めた結果、これらの施策について、いくつかの課題が見えてきました。

よって、文教厚生委員会では、市の最重要課題であります「すべての子どもが安心して健やかに成長できる牧之原市」を目指すため、「子育て支援について」意見をまとめましたので、次のとおり提言いたします。

提言内容

(1) 専門スタッフの確保

子育て支援事業を推進するうえで、指導や相談などの体制整備が重要である。保育士、保健師、臨床心理士不足により事業が計画的に推進できていない現状が見受けられることから、専門スタッフの適正な人数を確保し、体制強化を図ること。

(2) 子育て支援施策の周知

子育て支援事業は充実しているものと認識しているが、市民への周知が徹底していないように見受けられる。このことから、施策内容が容易に閲覧できるような資料など作成し、積極的に周知を図ること。

(3) 安心して働ける環境づくり

子どもの病気など、仕事と子育ての両立を図る取り組みが子育て世代にとって必要である。安心して働ける環境づくりが重要であることから、病児・病後児保育及び休日保育を推進すること。

(4) 出産環境の整備

赤ちゃんを産むための病院がない現状を踏まえ、産める環境整備として産科医、助産師の確保を図ること。また、助産師と医院・病院との連携や助産院の開業を促す施策を検討すること。

(5) 子どもが楽しめる居場所づくり

子どもが楽しめる施設として児童館や子育て支援センターがあるが、その更なる利用促進など充実を図ること。

また、公共施設など既存施設を活用した子どもが楽しめる居場所を確保すること。

市内遊び場マップなど子どもが楽しめる施設の一覧を作成し、市民への周知を図ること。